

五條新町とは

大和盆地の南西、吉野川の中流域に位置する五條新町は、下街道・伊勢街道・西熊野街道・紀州街道・西河内街道の五つの街道が交差する、南大和の中心的な商家町として繁栄した。

五條新町の名前が示すように、まちなみは『五條』と『新町』の二つからなる。

中世末に町場として成立していたのが『五條』で、緩やかに曲がる街道に沿ってまちが広がっている。慶長 13 年（1608）に新たに城下町として建設されたのが『新町』で、こちらは約 700m にわたる直線状の街道に沿ってまちが広がっている。二つの町を東西に連ねる伊勢街道が狭まりつつ大きく曲がり、その両側につし2階の町家が軒を連ねて迫る姿は、見る者に圧倒的な存在感を示している。

昭和 50 年（1975）の調査で町家の約 6 割が江戸時代に遡るものであることが判明したが、住民の減少・高齢化に伴い管理する者がいなくなった町家の多くが取り壊され、年々その数を減らしていった。

平成 2 年（1990）、伝統的な町家の喪失に危機を感じた地域の有志が「新町塾」を立ち上げ、まちなみ保存のまちづくりを展開し始めた。中でも毎年5月末に開催する「かげろう座」は、軒先で手作り品等の販売を行うという独特のイベントで、かつての賑わいを取戻し、その後のまちづくりの大きな原動力となった。その流れを受け、平成 17 年（2005）には NPO 法人大和社中が設立された。

平成 22 年（2010）、伝統的なまちなみが残ること、まちなみ保存のまちづくりを進めていこうという住民が存在すること、の2つの条件がそろい、五條新町は全国で第 88 番目の重要伝統的建造物群保存地区として選定された。



五條新町の四季

五條新町のあゆみ

- 慶長12年（1607）栗山家住宅建立（建立年代の判明する日本最古の民家）
- 慶長13年（1608）二見城主松倉豊後守重政 93 軒の長屋を建て、諸役免許して新町村ができる
- 寛永 8 年（1631）五條商人、公儀に伝馬所設立を願い出る
- 寛永16年（1639）鍵屋弥兵衛、吉野川で花火をあげる（のちの両国花火の祖）
- 寛政 7 年（1795）五條代官所が設置
- 天保13年（1842）このころ、森田節斎 塾を開き門下生を訓練する
- 文久 3 年（1863）8 月 17 日、天誅組の変 五條代官所に討ち入り
- 大正 9 年（1920）五新鉄道、期成同盟会が結成
- 大正12年（1923）初代大川橋完成（現在のものは昭和 35 年に掛け替え）
- 昭和32年（1957）宇智郡内の 2 町 6 村が合併して五條市が成立
- 昭和34年（1959）伊勢湾台風による大水害
- 昭和43年（1968）栗山家住宅が国重要文化財に指定
- 昭和50年（1975）奈良県国立文化財研究所による町家調査
- 平成 2 年（1990）新町塾立ち上げ
- 平成 5 年（1993）新町フリーマーケット開催（後のかげろう座）
- 平成10年（1998）～19年（2007）街なみ環境整備事業等により、民俗資料館（史跡公園長屋門）、まちなみ伝承館、まちや館を整備
- 平成17年（2005）NPO 法人大和社中設立
- 平成22年（2010）古民家レストラン「源兵衛」オープン
重要伝統的建造物群保存地区に選定（全国 88 番目）

特定非営利活動法人 大和社中

- 住 所：奈良県五條市五條3丁目1番23号
- 電 話：0747-26-6688
- FAX：0747-26-5055
- E-mail：yamatosyatyu@gmail.com
- HP アドレス：http://www1.gojo.ne.jp/~yamato/

本事業は奈良県の地域にぎわい創出事業の業務委託を受けた事業です。

このパンフレットはそれを受けて製作しています。